

石川県肝炎診療連携 専門医療機関受診調査票	
氏名: _____ 性: _____ 生年月日: _____ 生 住所: _____	紹介医療機関名: _____ 紹介医名: _____
石川県肝炎診療連携で診断・画像検査・治療方針について御高診お願いします。 HCV抗体陽性 HBs抗原陽性 ALT値(IU/L) 血小板値(/ μ L)	
コメント	
<専門医療機関記入欄> 検査施行日: 腹部超音波検査(年 月 日)腹部造影CT(年 月 日) 腹部造影MRI(年 月 日)肝生検 (年 月 日)	
診断結果: 1.慢性肝炎 2.肝硬変 3.肝がん 4.無症候性キャリア 5.その他()	
今後の望ましい検査方針: 腹部超音波検査(年 月頃) 腹部造影CT(年 月頃) 腹部造影MRI(年 月頃)	
今後の望ましい治療方針: 1.インターフェロン療法 2.経口抗ウイルス薬 3.他の注射・内服薬 4.経過観察	
コメント	
専門医療機関名: _____ 担当医名: _____	
紹介医(かかりつけ医)保存用 <紹介医への返書>	

かかりつけ医

上段記載後, 専門医受診勧奨

↓ ↑

肝疾患専門医療機関

下段記載後,
かかりつけ医, 拠点病院へ送付

↓

拠点病院

図2 石川県肝炎診療連携調査票とその取り扱い

も肝発癌が認められることも念頭に置いてウイルス排除後も経過観察を行う必要がある。また近年C型慢性肝疾患に対する治療戦略は、めまぐるしく変化しており、C型慢性肝疾患患者が、

少なくとも年に1回は肝臓病・消化器病専門医の診察を受け、最新の治療情報を得られるような連携システムの構築も重要と考えられる。

文 献

- 1) 酒井明人, 金子周一: ウイルス性慢性肝炎の自然経過とチェックポイント. 診断と治療 96(3): 429-434, 2008.
- 2) 日本肝臓学会(編): 第2章 診断およびサーベイランス. 科学的根拠に基づく肝臓診療ガイドライン 2013年版, p27-72, 金原出版, 2013.
- 3) Asahina Y, et al: α -fetoprotein levels after interferon therapy and risk of hepatocarcinogenesis in chronic hepatitis C. Hepatology 58(4): 1253-1262, 2013.
- 4) Dohmen K, et al: The incidence and risk factors for the development of hepatocellular carcinoma after peginterferon plus ribavirin therapy for chronic hepatitis C. Hepatogastroenterology 60(128): 2034-2038, 2013.
- 5) Chang KC, et al: Clinical-guide risk prediction of hepatocellular carcinoma development in chronic hepatitis C patients after interferon-based therapy. Br J Cancer 109(9): 2481-2488, 2013.

